



SKIP CITY  
INTERNATIONAL  
D-Cinema FESTIVAL  
2005

# SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭2005

2005.7.16 (土) ~ 24 (日) SKIPシティ (埼玉県川口市)

## 記者発表資料

[www.skipcity-dcf.jp](http://www.skipcity-dcf.jp)

## はじめに

本日は「SKIP シティ国際Dシネマ映画祭 2005」記者発表にご参加賜り、誠に有難うございます。

21世紀の新しい映画を担う「デジタルシネマ」の普及と、新しい才能の発掘をテーマに、第2回目となる今年の映画祭を、7月16日(土)～24日(日)の9日間にわたり開催致します。

この映画祭は急速に進む映像のデジタル化を先取りし、デジタルで撮影された映画(長編、短編)だけを世界から公募し、その中から優れた作品を選び顕彰していこうというものです。今日デジタル技術はあらゆる産業に革命的变化をもたらそうとしています。映像産業もその例外ではなく、日々確実にデジタルの波が押し寄せています。映像産業を核とした次世代産業の拠点化を目指すSKIPシティにとってこの映画祭は、産業集積の新しい土壌作りと、新しいクリエイターの発掘・育成に大きく寄与することを目的に開催されます。今回は、世界25の国と地域から458本の作品がエントリーされ、厳正なる予備審査を経て、長編・短編ともに各10本、計20本の作品がノミネートされコンペティションとして上映されることとなりました。

デジタル技術により、今日のクリエイターは、より多様な映像表現と、より容易な制作環境を得ることができました。そして作られた作品が一人でも多くの観客の目に触れてほしいと願っています。是非皆様のお力を借りて、この映画祭が映画ファンだけでなく一般市民の方々にも広く知れ渡り、SKIPシティを訪れ、世界のデジタルシネマを楽しんでいただくことができれば願うものです。

また、コンペティション部門の他にも、特集上映、D-コンテンツマーケット、シンポジウムなど、国内外のデジタルシネマをフィーチャーした企画をお届けします。こちらにも是非お出かけいただき、若いクリエイターと触れていただければ幸いです。

今年海外では、デジタルシネマがいよいよ本格的に始動しようとしています。世界にも例を見ない「デジタルシネマ」だけを取り上げた私どもの映画祭に、是非ご期待いただき、広く皆様にお知らせいただきますようお願い申し上げます。

SKIP シティ国際Dシネマ映画祭 2005

ディレクター

瀧沢 裕二



# 上映スケジュール

映像ホール: 席数 321 / 多目的ホール: 席数 300

7月16日(土)	映像ホール			開場 13:40 開演 14:00	オープニングセレモニー 『サマータイムマシン・ブルース』 ／Summer Time Machine Blues 招待作品 / 100分		
	多目的ホール						
7月17日(日)	映像ホール	開場 10:40 開演 11:00	『北欧短編特集①』 ／Nordic Shorts 1 特集上映 / 95分	開場 13:40 開演 14:00	『ラスト・ミニット』 ／Last Minute 長編コンペ / 82分 / Q&A	開場 16:40 開演 17:00	『天使』 ／Angel 長編コンペ / 117分 / Q&A
	多目的ホール			開場 14:10 開演 14:30	『短編コンペ①』 ／Short Competition 1 短編コンペ / 93分 / Q&A	開場 17:10 開演 17:30	『レッド・コックローチズ』 ／Red Cockroaches 長編コンペ / 82分 / Q&A
7月18日(祝)	映像ホール	開場 10:40 開演 11:00	『短編コンペ②』 ／Short Competition 2 短編コンペ / 91分 / Q&A	開場 13:40 開演 14:00	『ブラザーズ』 ／Brothers 長編コンペ / 110分 / Q&A		
	多目的ホール	開場 11:10 開演 11:30	『ミー・アンド・ユー・アンド・エブリワン・ ウイノウ』(原題) ／Me and You and Everyone We Know 長編コンペ / 90分 / Q&A	開場 14:10 開演 14:30	『世界』 ／The World 長編コンペ / 139分 / Q&A		
7月19日(火)	映像ホール	開場 12:40 開演 13:00	『ムーンランディング』 ／Moonlanding 長編コンペ / 90分 / Q&A			開場 17:40 開演 18:00	『短編コンペ①』 ／Short Competition 1 短編コンペ / 93分 / Q&A
	多目的ホール			開場 15:10 開演 15:30	『ミュージック・フロム・ジ・インサイド・アウト』 ／Music from the Inside Out 長編コンペ / 90分 / Q&A	開場 18:10 開演 18:30	『エイブル・エドワーズ』 ／Able Edwards 長編コンペ / 85分 / Q&A
7月20日(水)	映像ホール	開場 12:40 開演 13:00	『天使』 ／Angel 長編コンペ / 117分 / Q&A			開場 17:40 開演 18:00	『北欧短編特集②』 ／Nordic Shorts 2 特集上映 / 102分
	多目的ホール			開場 15:10 開演 15:30	『短編コンペ③』 ／Short Competition 3 短編コンペ / 112分 / Q&A	開場 18:10 開演 18:30	『ミー・アンド・ユー・アンド・エブリワン・ ウイノウ』(原題) ／Me and You and Everyone We Know 長編コンペ / 90分 / Q&A
7月21日(木)	映像ホール	開場 12:40 開演 13:00	『銀飾』 ／Silver Ornaments 長編コンペ / 115分 / Q&A			開場 17:40 開演 18:00	『レッド・コックローチズ』 ／Red Cockroaches 長編コンペ / 82分 / Q&A
	多目的ホール			開場 15:10 開演 15:30	『北欧短編特集①』 ／Nordic Shorts 1 特集上映 / 95分	開場 18:10 開演 18:30	『ブラザーズ』 ／Brothers 長編コンペ / 110分 / Q&A
7月22日(金)	映像ホール	開場 12:40 開演 13:00	『シンポジウム』(無料・事前登録制)			開場 17:40 開演 18:00	『世界』 ／The World 長編コンペ / 139分 / Q&A
	多目的ホール			開場 15:10 開演 15:30	『短編コンペ②』 ／Short Competition 2 短編コンペ / 91分 / Q&A	開場 18:10 開演 18:30	『ラスト・ミニット』 ／Last Minute 長編コンペ / 82分 / Q&A
7月23日(土)	映像ホール	開場 10:40 開演 11:00	『ミュージック・フロム・ジ・インサイド・アウト』 ／Music from the Inside Out 長編コンペ / 90分 / Q&A	開場 13:40 開演 14:00	『エイブル・エドワーズ』 ／Able Edwards 長編コンペ / 85分 / Q&A	開場 16:40 開演 17:00	『短編コンペ③』 ／Short Competition 3 短編コンペ / 112分 / Q&A
	多目的ホール	開場 11:10 開演 11:30	『北欧短編特集②』 ／Nordic Shorts 2 特集上映 / 102分	開場 14:10 開演 14:30	『ムーンランディング』 ／Moonlanding 長編コンペ / 90分 / Q&A	開場 17:10 開演 17:30	『銀飾』 ／Silver Ornaments 長編コンペ / 115分 / Q&A
7月24日(日)	映像ホール			開場 13:40 開演 14:00	表彰式 『長編グランプリ受賞作品』 ／Grand prize winner		
	多目的ホール						

## ★短編コンペティション 各プログラム

- ◆短編コンペ①(93分) 『春を想ふ』(19分)／『ロス・タイム・ライフ』(10分)／『セツちゃん』(34分)／『珈琲とミルク』(30分)
- ◆短編コンペ②(91分) 『朱の路』(14分)／『次の信号を左に』(59分)／『きみの秘密、僕のこころ』(18分)
- ◆短編コンペ③(112分) 『何故か赤い道』(27分)／『しゃぼんだまとんだ』(40分)／『夏っちゃんの夏』(45分)

## ★北欧短編特集 各プログラム

- ◆北欧短編①(95分) 『ブロードバンド』(Broadband)(29分)／『ストレスレス』(Stressless)(15分)／『ユニバーサル・ヘル』(Universal Kjell)(29分)／『ザ・ラスト・ワーズ・オブ・フレググヴィーズ』(The Last words of Hreggvidur)(22分)
- ◆北欧短編②(102分) 『マックス・バイ・チャンス』(Max by Chance)(29分)／『マネー』(Money)(6分)／『子供と呪文』(The Bewitched Child)(47分)／『ソルジャー7』(Soldier 7)(20分)

※字幕付き上映。(英語作品は日本語字幕付、日本語作品は英語字幕付、日本語・英語作品以外は日本語及び英語字幕付き上映)

※Q&A表記のプログラムは、上映後ゲストによる質疑応答を予定しております。 ※やむを得ない事情により、プログラム、ゲストが変更となる場合がございます。

## 長編部門（国際コンペティション） 概要説明

映画の歴史が始まり 100 年以上が過ぎた今、デジタルという新しい技術によって映像表現、映像産業に革命が起こり始めています。クリエイターに新しい表現を、若い才能には映画制作のチャンスそのものを提供しうる更なる可能性を持つデジタルシネマ。この長編コンペティション部門では、特に、劇場公開を前提とした国内外の長編デジタルシネマの新しい才能を発掘し、表彰します。デジタルで撮影、編集され、デジタルフォーマットでの上映が可能な長編作品を、国内外から公募し、エントリーされた 194 本の中から、10 本のノミネート作品を上映いたします。

さらに、デジタル映像や、映画産業に造詣の深い 4 名の国際審査員による最終審査を経て、表彰式で各賞に対して、主催者賞及びソニーD シネマアワード(ソニー㈱、ソニーマーケティング㈱協賛)の授与が行われます。

### 【長編コンペティション部門 賞構成】

#### 最優秀作品賞

主催者賞： 賞状、トロフィーの授与。

ソニーD シネマアワード： トロフィー、副賞(賞金 1,000 万円)の授与。

#### 優秀作品賞

主催者賞： 賞状、トロフィーの授与。

ソニーD シネマアワード： トロフィー、副賞(賞金 100 万円)の授与。

#### 新人監督賞

劇場公開用長編映画制作の経験が 3 本以下の監督を対象。

主催者賞： 賞状、トロフィーの授与。

ソニーD シネマアワード： トロフィー、副賞(賞金 200 万円)の授与。

#### 技術賞

デジタルシネマならではの撮影手法、編集手法、カラーマネジメント手法、合成技術等が優れている作品に授与する。

主催者賞： 賞状、トロフィーの授与。

ソニーD シネマアワード： トロフィー、副賞(賞金 100 万円)の授与。

#### 審査員特別賞

審査員が特別に顕彰する作品に授与する。

主催者賞： 賞状、トロフィーの授与。

ソニーD シネマアワード： トロフィー、副賞(賞金 100 万円)の授与。

**審査委員長****チャールズ・エス・シュワルツ (Charles S. Swartz)**

- 南カリフォルニア大学 / エンターテインメント・テクノロジー・センターCEO (アメリカ)

1993年にUSCの映画・テレビスクール内に創立されデジタルシネマの研究機関として、早い段階から実証実験などを行ってきたエンターテインメント・テクノロジー・センターにてCEOを務める。25年にわたるエンターテインメント業界での経験があるシュワルツ氏は、USC大学院の映画テレビ学部学ぶ。その後、ワーナー・ブロス社でのストーリー部門の責任者、ニュー・ワールド・ピクチャーズの制作責任者、ディメンション・ピクチャーズの取締役副社長等を経てUSCで、UCLAのエクステンションにおけるエンターテインメント・スタディでデジタルメディアとエンターテインメントマネジメントのカリキュラム構築に貢献する。他にも映画テレビ技術協会などでの業績によって、ロサンゼルス・ビジネス・ジャーナルが選ぶ「100人のデジタルテクノロジー」の一人に選ばれている。また海外でのシンポジウムやセミナーでの講演は多数にのぼり、毎年4月に行なわれるNAB(全米放送機器展)でのデジタルシネマ・サミットのコーディネーターを務める。産業界、教育界いずれにも人脈が深く、またデジタルシネマへの造詣も深い。

**ピトフ (Pitof) - 映画監督 (フランス)**

1957年7月、フランス生まれ。1975年にCFの編集見習いとなり映像の世界に携わり、1979年監督助手、編集担当として企業映画や広告、長編映画を手掛ける。1986年には独立し、CFやミュージック・クリップの特殊効果を専門に手掛けるようになる。1990年にジュネ&キャロに呼ばれ『デリカテッセン』の特殊効果を手掛けたのを始め、大ヒット作『おかしなおかしな訪問者』、『他人のそら似』での合成技術により、カンヌ映画祭の高等技術委員会大賞を受賞。以来『ブルーヘルメット』、『運転手付き幽霊』、『ディディエ』、ジャン=ピエール・ジュネ監督の『ロスト・チルドレン』と『エイリアン 4』、リュック・ベッソン監督『ジャンヌ・ダルク』といった作品で評価を確立した。2002年、世界で初めてデジタルシネマの長編『ヴイドック』を、2004年『キャットウーマン』を監督するなど、これまでの特殊効果で培った人脈と経験を基盤にデジタルでの映画制作に果敢に取り組んでいる。

**フォ・ジェンチイ (Janqui Huo) - 映画監督 (中国)**

1958年、北京生まれ。北京電影学院美術学部卒業後、1992年まで北京撮影所に所属し、美術監督として活躍した後、1995年に自主作品『贏家』(勝者)で監督デビュー。1999年に3作目の『山の郵便配達』を監督。原作は、1983年全国優秀短編小説賞と湖南省第1回青年文学賞を受賞したポン・チェンミンの同名短編小説。2002年の上海国際映画祭で『シヨンヤンの酒家』がグランプリ受賞。香川照之が主演した最新作『故郷の香り』は、2003年の金鷄賞最優秀作品賞と最優秀脚本賞、東京国際映画祭グランプリと優秀主演男優賞を受賞。日本では2005年1月から公開された。デジタル撮影にも積極的に取り組んでいる。

**梶井 省志 (株)アルタミラピクチャーズ代表取締役・映画プロデューサー(日本)**

周防正行監督作品『ファンシイダンス』(89)、『シコふんじゃった。』(91)をプロデュース。その後 1993 年に周防正行、磯村一路監督と共に独立し、株式会社アルタミラピクチャーズを設立。以後、『Shall we ダンス?』(周防正行監督)(96)、『がんばっていきまっしょい』(磯村一路監督)(98)、『ウォーターボーイズ』(矢口史晴監督)(01)、『タカダワタル的』(タナダユキ監督)(04)、『スウィングガールズ』(矢口史晴監督)(04)、『ザ・ゴールデン・カップス ワンモアタイム』(サン・マーメン監督)(04)等のヒット作・話題作を手掛ける。最新作は『不滅の男 エンケン対日本武道館』(遠藤賢司監督)で今秋公開が決定。また、『Shall we ダンス?』はアメリカでリメイクされ全世界で公開された。独立プロダクションとして良質の作品を産み出してきたが、若手の発掘にも非常に関心が高く、これまでに多くの若手監督を起用した実績がある。

## ■ 長編部門（国際コンペティション）ノミネート作品 （10作品）

【凡例】 日本語タイトル／英語タイトル／原題（製作年／製作国／分数／言語／撮影フォーマット）  
★：新人監督賞候補作品



### ラスト・ミニット／Last Minute／Last Minute ★

(2003年／ドイツ／82分／ドイツ語／Digital Betacam)

出演：ペトラ・クレインナート、エルカン・ダーマズ、カタリーナ・シュマレンバーク

**監督：マリナ・キャバ・ラル** 1964年、スペイン生まれ。スペイン人の父とドイツ人の母を持ち、ベルリン大学にて哲学を専攻。卒業後、10年間歴史と哲学を大学にて教えると同時に、ドイツの映画学校HFFに1994年入学。本作はHFFにての卒業制作作品。ドイツ、イギリス、ベルギー、イタリアでの映画祭に出品されている。

あらすじ：ハイケ 45歳。今朝、夫とケンカ。ニナ 20代半ば。今朝、妊娠が発覚。二人ともこの日のはじまりは最悪だった。それなのに状況は更に悪いほうへ。清掃員の控室で手錠をはめられた外国人、カワを見つける。彼は不当な強制送還から逃れようとしているという。彼を信じていいのか？犯罪者かテロリストに違いないと思ひ込むハイケだが、ニナは強制送還されれば拷問にあうと主張するカワを信じ始める。空港警察が搜索する中、二人は決断を迫られていた。



©桜沢エリカ/祥伝社

### 天使／Angel ★

(2005年／日本／117分／日本語／HDCAM)

※この作品は完成したばかりで、製作者側と配給の松竹側の意向で、今日の段階ではキャスト名に関して控えさせていただきます。

配給：松竹

**監督：宮坂まゆみ** 1989年に音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」に入社。その後1995年より映像製作会社株式会社セップに参加し、音楽番組・ミュージックビデオ(宇多田ヒカル、松任谷由実、ごまっとう等)・セルビデオの演出を多数手がける。2002年にはテレビドラマ「優香座シネマ」(テレビ朝日放送)で、ドラマ初演出。2004年本作で長編映画初監督。現在もミュージックビデオや音楽ライブ映像を中心に、幅広く活動中。

あらすじ：コンビニ店員カトウ君の目の前に突然現れた天使。大きな羽根を持つてはいるが、まるで掴みどころのない気まぐれな女の子であり、勝手気ままにいろいろな人について行っては、黙ったまま大好きなジンライムを飲むばかり。そんな天使は柑神町という街を舞台に、カトウ君のほか、自殺願望のある中学生やシングルファーザーとその娘、仲良しのグルメな姉妹など、どこか心に寂しさを抱えた人たちにしか見えない。それぞれの登場人物が天使との出会いをきっかけにほんの少し強く生きようとする中で幸せを掴んでいくハートウォーミングストーリー。



## レッド・コックローチズ／ Red Cockroaches ★

(2004年／アメリカ／82分／英語／DV)

出演：アダム・プロッチ、タリア・ルーベル、  
ジェフ・プチャーロ

**監督：ミゲル・コユーラ** 1977年、キューバのハバナで生まれる。キューバのインディペンデント映画作家のニューウェーブの一人であり、デジタル技術を利用し、低予算で映画を製作している。短編を多数製作、各映画祭で多数の賞を獲得し、初長編となる本作でも多くの賞を受賞している。次回作として『Memories of Overdevelopment』を準備中。

あらすじ：不吉なDNA21コーポレーションの道徳的価値が酸性雨と共に社会にしみわたり、荒廃している近未来のニューヨーク。20代の男は、日々の平凡な生活を乱すミステリアスな若い女に出会う。二人は共に、家族の暗い秘密と禁じられた欲望を明らかにしようと度をこした破壊的な旅に乗り出す。ミステリアスで魅惑的、分類することの出来ないこの映画は、我々が期待するジャンルの答えを見つけ出させることなく、混沌としたクライマックスで超現実的な旅へと私たちを導く。



©2005 IFC AND FLM FOUR

## ミー・アンド・ユー・アンド・ エブリワン・ウィ・ノウ（原 題）／Me and You and Everyone We Know ★

(2005年／アメリカ／90分／英語／HDCAM)

出演：ジョン・ハウキス、ミランダ・ジュライ  
配給：ハピネット・ピクチャーズ

**監督：ミランダ・ジュライ** マルチメディア・アーティストとして有名な彼女の短編（『Haysha Royko』、『The Amateurist』、『Nest of Tens』、『Getting Stronger Every Day』）は、ニューヨーク近代美術館やグッゲンハイム美術館、イメージフォーラムなどで国際的に上映されている。ニューヨークにあるWhitney Museum of American Art 2004にも参加。本作は、初の長編監督、主演作品であり、2005年カンヌ映画祭批評家週間でも上映され、新人賞の「カメラドール」を受賞している。アメリカでの劇場公開も2005年夏に決定している。

あらすじ： 独身のクリスティーンは、老人介護用タクシーの運転手として働くアーティスト。老人たちの孤独や生き様から感じたことを、パフォーマンス・アートとして表現しようと活動している。なんとか美術館での展示にこぎつけようと努力する彼女だが、だれにも認められずに落胆している。離婚のショックから立ち直れないでいるリチャードは、二人の子供の世話をしながら、女性靴のセールスマンとして生計を立てている。傷心のリチャードは、希望を失わず、前向きに生きることをモットーとして、子供たちに説教している。心のどこかに寂しさを抱える二人の偶然の出会い。惹かれ合いながらも、なかなか自分たちの気持ちに素直になれない。日常生活でのささやかな変化が、微妙に揺れる二人の心をゆっくりと開いていく。



## ブラザーズ / Brothers / Brodre

(2004年 / デンマーク / 110分 / デンマーク語 / HDCAM)

出演：ウルリク・トムセン、コニー・ニールセン、ニコライ・リー・クォース

**監督：スサネ・ピア** 1960年、デンマーク生まれ。デンマークのナショナル・フィルム・スクールを卒業。卒業制作作品が、ミュンヘンのフィルム・スクール・フェスティバルで賞を受賞し、アカデミー賞にも予備審査まで残った。1990年から2004年制作の『ブラザーズ』まで、8本の長編を監督しており、世界各国の映画祭で数々の賞を受賞している。ドグマ作品として製作された前作『しあわせな孤独』は日本公開されている。『グラディエーター』や『閉ざされた森』などのハリウッド映画に出演しているコニー・ニールセン出演の本作は、トロント映画祭でプレミア、サンダンス映画祭では観客賞を受賞している。

あらすじ：アフガニスタンの国連平和維持軍で活動しているミカエルは、乗っていたヘリコプターが撃ち落された時消息を絶つ。ミカエルの弟ヤニックは家族のやっかい者である。彼は刑務所にでも入らない限り自分の居場所を見つけられない。ミカエルが消息を絶った後、ヤニックは兄の妻のサラと娘たちを助けるうちに、大人としての責任感を抱くようになる。また彼ら双方にとって驚いたことに、ヤニックとサラはお互いに惹かれ合い始める。死んだと思われていたミカエルが、タリバンのキャンプから解放されたとのニュースに動揺する家族。誰もが変わってしまい、かつて彼らが居た場所には戻ることが出来ない。



## 世界 / The World / 世界

(2004年 / 中国・フランス・日本 / 139分 / 中国語 / HDCAM)

出演：チャオ・タオ、チェン・タイシェン、ワン・ホンウェイ

配給：オフィス北野 / ビターズ・エンド

**監督：ジャ・ジャンクー** 1970年、中国山西省・フェンヤン生まれ。1993年に北京電影学院に入学。1995年にはインディペンデント映画製作グループを結成、55分のビデオ作品『小山回帰』を監督。この映画は、香港インディペンデント映画賞の金賞を受賞し、香港国際映画祭でも上映された。1997年、北京電影学院を卒業し、卒業製作として16mm長編劇映画『一瞬の夢』を監督。この作品は、ワールド・プレミア上映となった1998年のベルリン映画祭でヴォルフガング・シュタウテ賞(最優秀新人監督賞)を受賞したのをはじめ、プサン映画祭、バンクーバー映画祭、ナント三大陸映画祭で連続してグランプリを獲得し国際的に大きな注目を集めた。その後、『プラットホーム』(00)や『青の稲妻』(02)など話題作を発表。中国の新世代を担う映画作家として、その新作が国際的に待望される映画作家の一人である。

あらすじ：北京郊外のテーマパーク「世界公園」で、タオはダンサーとして働いている。エッフェル塔、タージマハール、ピラミッドなど、世界各地の名所旧跡を再現したパビリオンの前で踊り、観客の目を魅しませるのがタオの仕事だ。タオには公園の守衛主任タイシェンというボーイフレンドがいる。タオはタイシェンと結婚したいと思っているが、タイシェンの態度は煮え切らない。そんな時、タイシェンの前に魅力的な女性チュウが現れる……。



©FILMVERLAG DER AUTOREN

## ムーンランディング / Moonlanding / Mondlandung ★

(2003 年 / ドイツ / 90 分 / ロシア語・ドイツ語 / DV)

出演：アンドレイ・ドロノフ、アントン・レビット、アニカ・ブレンドル

**監督：ティル・エンデマン** 1976 年、ハンブルグ生まれ。NDR でのブロードキャスター、Hamburger Morgenpost 新聞社を経て、1997 年から 2002 年まで Film Academy Baden-Wuerttemberg に在学。短編映画 3 本、ドキュメンタリー 2 本で数々の賞を受賞した後、本作で長編監督デビュー。

あらすじ：カーファー家にとって三代続いたカザフスタンでの暮らしを捨て、ドイツに再び根を下ろすことは、月へのミッションより困難なことだった。ドイツにルーツを持っているのは祖母一人だけ。彼女の娘とその二人の息子たち、ユーリとデミトリにとって、全くの新しい土地への旅である。彼らは異国同然の土地での“より良い生活”に適合することができるか？我が家のように感じるができるか、それとも見知らぬ土地で、いつまでもよそ者のままでいるのだろうか？



©ANKER PRODUCTIONS. INC.

## ミュージック・フロム・ジ・イン ンサイド・アウト / Music From the Inside Out ★

(2004 年 / アメリカ / 90 分 / 英語 / Digital Betacam)

出演：フィラデルフィア管弦楽団の音楽家たち

**監督：ダニエル・アンカー** 多数のドキュメンタリーや特別番組を PBS 用にプロデュース、監督。最近の作品は、2004 年のトライベッカ映画祭でプレミア上映された『Imaginary Witness』、アカデミー賞にノミネートされ、エミー賞も受賞した『Scottsboro: An American Tragedy』では、プロデューサー兼監督としても活躍している。

あらすじ：世界レベルでも実力を誇るフィラデルフィア管弦楽団の音楽家たち 105 人の物語と音楽を通して語られる、音楽的体験の不思議な力と神秘性の探検である。この映画の核心は、ブルーグラス（アメリカ南部のカントリーミュージック）やサルサ、ジャズから東洋音楽、弦楽四重奏曲から交響曲まで、いろいろな音楽が入り混じる演奏にある。司会やナレーション無しで語られるこの映画は、“音楽的エッセイ”のスタイルで多様に展開する。アイデア、物語、体験、会話そして音楽制作が合わさったタペストリーで、音楽的体験の複雑さと深さ、同時にその美しさと人間性につながるものが一挙に現れるのである。



## エイブル・エドワーズ / Able Edwards ★

(2004年／アメリカ／85分／英語／DV)

出演：スコット・ガルブレス、ケリ・ブルーノ、デイビッド・ウリー

**監督：グラハム・ロバートソン** 1973年アメリカ、コロラド州生まれ。サンタフェで映画製作を勉強した後、セットデザイナーとして『パンチドランク・ラブ』、『ラッシュアワー2』、『ソードフィッシュ』など数多くのハリウッド映画に携わる。セットなし、すべてグリーンスクリーンの前で合成撮影、デスクトップでポストプロダクションが行われ、超低予算で製作された『エイブル・エドワーズ』は監督デビュー作。スティーブン・ソダーバーグが製作総指揮を担当。

あらすじ： 近未来—自然環境が悪化し、生存不可能になった地球を後にして、人工衛星に生活の場を移さざるをえなくなった人間社会。人間クローンを製作するエイブル・エドワーズ社は、会社の活性化を図るため、1960年代にエンターテインメント業界のトップに臨在した創立者エイブル・エドワーズのクローンを製作。すべてがバーチャル化した世界に再び生きることになったエドワーズのクローンは、次第に自分自身のアイデンティティに目覚めながら、実物のエドワーズに激しい競争心をいだくようになるが…。



## 銀飾 / Silver Ornaments / 銀飾

(2004年／中国／115分／中国語／HDCAM)

出演：モン・イアオ、グ・ヤン、ワン・トンホ  
オイ

**監督：ホアン・ジエンジョン** 1941年インドネシア生まれ。1960年、北京映画撮影所に入社。中国映画『百花賞』、『華表賞』で、中国新時期人道主義優秀映画賞などの賞を獲得し、スペイン太平洋国際映画祭、東京国際映画祭などで受賞。日中両国の外交正常化30周年を記念したTVドラマ「世紀末の晩鐘」を監督。

あらすじ： 1920年代初頭、官庁の要人の長男は、銀のアクセサリーを身につけて女装するのが好きなホモセクシャルだった。彼の妻は性もなく愛もない夫婦生活に我慢できず、若い銀職人と不倫の愛の道に足をふみいれてしまう。しかし、そのことが要人に知られ、銀職人は要人の罠にはまり、死んでしまう。一人息子を失った銀職人の父は誤解し、その妻を銀の首飾りで殺した後自殺。長男はすべてのことを知り、妻の墓の前で女の姿で自殺する。

## 短編部門(国内コンペティション)概要説明

海外では、短編制作は、クリエイター自身の長編制作への可能性をアピールするものとして捉えられています。そこで、今回は特に国内のクリエイターを支援することを目的に、デジタルという新しい技術を活かし、ストーリー的に完成度の高い作品を選出し、表彰します。デジタルで撮影、編集され、デジタルフォーマットでの上映が可能な短編作品を、国内から公募し、エントリーされた 264 本の中から、10 本のノミネート作品を上映いたします。審査委員長に、俳優の高嶋政伸氏をお迎えし、「SKIP シティ国際 D シネマ映画祭を応援する市民の会」による最終審査を経て、表彰式で各賞に対して主催者賞、及び川口市民賞の授与が行われます。

### 【短編コンペティション部門 賞構成】

#### 最優秀作品賞

主催者賞：賞状、トロフィーの授与。

川口市民賞：トロフィー、副賞(賞金 100 万円)の授与。

#### 奨励賞 (2作品)

主催者賞：賞状、トロフィーの授与。

川口市民賞：トロフィー、副賞(賞金各50万円)の授与。

川口市民賞：川口市民により設立された「SKIP シティ国際 D シネマ映画祭を応援する市民の会」より、優れた国内映画制作者を顕彰するために創設された賞。

### <審査委員長>

#### 高嶋政伸

1966年東京生まれ。父に高島忠夫、母に寿美花代、兄に高嶋政宏をもつ芸能一家。1988年にNHK『純ちゃんの応援歌』でデビューし、その後TV・映画・舞台と活躍。「HOTEL」、「こちら本池上署」は人気シリーズ化に。昨年公開、出演した映画『感染』はハリウッドでリメイク化が決まっている。

### <審査委員>

「SKIP シティ国際 D シネマ映画祭を応援する市民の会」より選出された7名。

国弘よう子	映画評論家、映画ペンクラブ所属
河村友正	応援する市民の会幹事
立石幸子	応援する市民の会幹事
高橋安信	埼玉映像連盟 理事
森 雄児	青年会議所 副理事長
高杉恒平	NPO さいたま映像ボランティアの会/映像部会
江原文夫	NPO さいたま映像ボランティアの会/映画部会

## ■ 短編部門（国内コンペティション）ノミネート作品 （10 作品）

〔凡例〕 日本語タイトル（製作年／分数／撮影フォーマット）



### 春を想ふ

2004 年／19 分／DV

監督：葛西 勇也

出演：藤井 樹、武 めぐみ、田中

→

監督プロフィール：1981 年岩手県生まれ。盛岡三高卒業後、京都外国語大学入学。以後、映画製作を始める。2005 年大学卒業。

あらすじ：桜も散って木々の若葉に緑が宿る頃、役者として上京する金子のもとを後輩のめぐみが訪ねる。金子に淡い想いを寄せるめぐみだが、金子は引越し準備に忙しい。そんな彼の気を引くために、めぐみはおかしな話を語り始める。



### ロス：タイム：ライフ

2003 年／10 分／DV

監督：筧 昌也

出演：虎牙 光揮、中村 麻美、  
岡野 進一郎

監督プロフィール：1977 年東京生まれ。14 才の時に「妖怪のいる街」でビックコミックスピリッツ新人奨励賞受賞。アニメーションや映画、ビデオアート等、様々な映像制作をし、1998 年『スクラップ』、2000 年『ハライセ』と続けて 2 本の自主制作映画を完成させ、ゆうばり映画祭に連続入選。映像ディレクターとしてモーショングラフィック、2D アニメーションを中心に活動。2003 年映画『美女缶』完成。ゆうばり映画祭 2003 オフシアター部門グランプリ受賞し、2004 年秋に 5 週間公開される。また、妻夫木聡主演で、「世にも奇妙な物語」でリメイク放映された。

あらすじ：もしも、人生にロスタイムがあったら？裏社会で取引の仕事をしている三浦修一は、今日の仕事を最後にアシを洗おうとしていた。しかし、その旨を売人に告げた途端、銃口を向けられる。轟く銃声。弾丸はスローモーションのようにゆっくりと迫る。次の瞬間、サッカーの審判団が駆け寄ってきた。修一には「人生のロスタイム」が与えられたのだ。彼はやり残したことを果たす為、愛する恋人の元へ疾走する。



## セツちゃん

2003年／34分／DV CAM

監督：竹内 雅俊

出演：近藤 芳正、遠藤 英恵、  
阿内 はるな

監督プロフィール：1966年東京生まれ。1989年早稲田大学第一文学部文学科演劇専修を卒業。1997年『暗殺者』がマンチェスター国際ファンタスティック映画祭にて第2位、サレルノ国際映画祭にて特別賞を受賞。マンハイムハイデルベルグ国際映画祭にも正式出品されている。

あらすじ：高木家は、どこにでもある普通の家族。ある日、娘の加奈子は「セツちゃん」という転校生について話した。「セツちゃん」はクラスにとけこめず、みんなからいじめられているという。父の雄介は加奈子に「加奈が面倒みてやればいだろう。友達なんだろう」と言う。運動会のダンスの練習でも「セツちゃん」は仲間外れにされた。それから加奈子は毎日のように「セツちゃん」の話をした。来ないでくれと言われた運動会当日。両親が見た光景は……。父、雄介の対応は……。



## 珈琲とミルク

2004年／30分／DV

監督：熊坂 出

出演：大垣 海、大前 美香子、  
松澤 光敬

監督プロフィール：1975年、埼玉県浦和市生まれ。立教大学文学部英米文学科を卒業後、フリーランスの映像ディレクターとして活動開始。テレビ朝日連続ドラマ「TRICK(3)」エンディングタイトルバック、古明地洋哉と白鳥マイカによる音楽ユニットwaterworks「space oddity」ミュージックビデオ、「SMAP×SMAP」スポットムービー、「morning glory」オープニングタイトルバック、Franck Avitabile「FINE-TUNE」ミュージックビデオ等、演出。2005年秋公開予定の映画『School Daze』（テレビマンユニオン製作）に脚本協力として参加。

あらすじ：ミルクは、写真家アラーキーを目指す小学校6年生。ミルクは、音を写真に撮ろうと思い立つ。耳の聞こえない女性、珈琲に音を伝えるために。友人フジオの手助けもあって、ミルクは、耳が聞こえないという事、自分が決して知りえない事を自分なりに想像し、とうとう最後に、珈琲の気持ちを伝える事を決める。果たして、ミルクの気持ちは珈琲に届くのか。



### 朱の路

2002年／14分／DV

監督：村田 朋泰

監督プロフィール：1974年生まれ。2002年3月東京芸術大学大学院修了。大学在学中に制作した『睡蓮の人』が第5回文化庁メディア芸術祭最優秀賞受賞ほか、各地で絶賛され注目を集める。同大学院修了制作の本作も、第9回広島国際アニメーションフェスティバルで優秀賞ほか海外映画祭含め受賞歴多数。2002年より毎年Mr. Children ツアー用PVを手がけている。

あらすじ：心に傷を負ったピアニスト。彼が鍵盤に再び触れる日は、もう来ないのか。人生の中で少しずつ変化してきた彼の心の情景を、象徴的に表しながら物語が展開していく。村田監督による「路」シリーズ第4章。



### 次の信号を左に

2004年／59分／DV

監督：下條 岳

出演：宮川 広平、下條 岳、  
斎藤 佳林

監督プロフィール：1987年愛知県名古屋市生まれ。中学の時から映画に興味を持ち始め、高校で映画を撮り始める。1作目の『Ceasing Season』に続いて本作品は2作目。現在、3作目を製作中。

あらすじ：高校生になった二人の青年が勢いで夏休みの旅の計画を立て始めた。しかし、これからやろうとしている事に二人は不安と恐怖を感じる。自分自身を見つめ返す覚悟、勇気……。お互いがそれぞれのそれと戦い、彼らはペダルをこぎだした。そこから始まる何かに向かって。15歳の、一瞬の夏の物語。



### きみの秘密、僕のころ

2004年／18分／HDCAM

監督：窪田 崇

出演：忍成 修吾、大沢 あかね

監督プロフィール：1977年生まれ。2001年にフジテレビの番組が実施した映像作家発掘プロジェクト「ID」で第1弾の監督に選ばれディレクターとしてデビュー。その後、民放などでショートフィルム、PV、CMを作り続け、2003年に映画制作会社 PIPPIN を設立。代表作は『Memoir』、『夢をみてみて』など多数。現在、長編『Wish on the Polestar』を制作中。

あらすじ：オートレースの No. 1 を決める王座決定戦。そこへ選手になって3年目で出場を果たした杉浦俊介は自分の過去を思い返す。高校生の頃、将来について何も目標がなかった杉浦にレーサーになるよう薦めた小百合。ピアニストになる夢を持っていた彼女につられ、自らもレーサーになる事を約束した。しかし、順調に夢をかなえていく杉浦に対し、うまくいかない小百合。ついに小百合は夢を追うことをさえ辞めてしまう。杉浦は自らの夢をかなえ、約束を果たすことで、小百合にもう一度、夢を追いかけて欲しいと願う。その想いを胸にレースへ出走していく杉浦。約束の場所を探して。



### 何故か赤い道

2004年／27分／DV

監督：小松 孝

出演：渡部 直也、柴原 由佳

監督プロフィール：早稲田大学第一文学部5年生。映画サークル“稲門シナリオ研究会”に所属。“早稲田映画まつり”入選8回-準グランプリ、篠田正浩賞、熊切和嘉賞、安藤紘平賞を受賞。その他、東京学生映画祭入選4回、準グランプリ、JCF学生映画祭入選など。

あらすじ：死ぬ死ぬと言って、全くその気のない寂しい男。友人知人すべてに見放され、夜道をさまよっていると、道に点々と落ちている血を見つけ、その血を辿っていく。



### しゃぼんだまとんだ

2004年／40分／DV

監督：佐藤 克則

出演：築野 絵美、杉野 美奈、

川島田 ユミヲ

監督プロフィール：1978年茨城県出身。高校卒業後、日活芸術学院に入学し、映像編集を専攻。学院卒業後はフリーの映像制作、デザインなどを手がける。

あらすじ：「しゃぼんだまとんだの歌を気づかないうちに口ずさんでいる人は・・・呪われてるんだって」。何気ないその一言ではじまった姉妹が体験する不可思議な現象を描く。



### 夏っちゃんの夏

2005年／45分／DV

監督：仙石幸太郎

出演：なつき、幸太郎、佐久間 一

生、

監督プロフィール：早稲田大学第一文学部卒。早稲田大学シネ研所属。フリーで音楽、映像関係の仕事を行っている。

あらすじ：ある夏の日、バツイチで失業中の高橋隆の前に、2才の夏子が現れる。「その子はあなたの子です。しばらく預かってください」というメールを送ってきたのは、以前つきあっていた美紀だった。夏っちゃんと隆のひと夏の物語。

## 特集上映 「北欧短編特集」

### 「北欧のデジタルショート」

デンマーク、コペンハーゲンにあるフィルムコンタクト・ノード(Film Kontakt Nord:略称 FkN)は、北欧諸国のインディペンデント作家による、短編およびドキュメンタリー作品を集めた NPO 機関です。北欧各国の文化省庁およびフィルムインスティテュートの出資によって支えられ、1991 年の設立以来、北欧内での製作・配給に関するネットワークの構築と、海外マーケットへの積極的なプロモーションを展開しています。北欧地域一丸となって、その文化を産業に変えていく取り組みは非常にユニークであり、その活動には学ぶべきものがあります。実際、北欧で製作される短編・ドキュメンタリー作品は世界の映画祭でも高い評価を得ています。また、IT 先進国とも言われる北欧諸国では、デジタルでの映画制作にも積極的に取り組んでいます。そこで今回、デジタルシネマの未来を担う若き短編作家を北欧から紹介したく、フィルム・コンタクト・ノードと各国のフィルムインスティテュートの協力を得て、本プログラムを企画しました。

### フィルム・コンタクト・ノードからのメッセージ

フィルム・コンタクト・ノード (FkN) は、北欧短編・ドキュメンタリー作家たちにより 1991 年の設立以来、北欧短編・ドキュメンタリー作品群の国際的なプロモーションと発展に尽くしてきました。FkN の最大の目的は、北欧諸国での映画製作、ならびに配給ネットワークの基盤の強化にとどまらず、国際的な評価も含め文化的な側面からも映画業界を支援することです。FkN が行う恒例の「ノーディスク・パノラマ・イベント」では、北欧短編とドキュメンタリーの紹介、ならびに 5 都市映画祭、ノーディスク・パノラマ・マーケット、また製作資金のサポートを行うノーディスク・フォーラムなども開かれます。レイキャビックで開催された「ノーディスク・パノラマ 2004」では、24 カ国から 500 人以上の業界人が集まり、306 作品の短編・ドキュメンタリーを上映。フォーラムでは、25 作品の新しいドキュメンタリー企画が紹介されました。デジタル映画制作、ならびに上映の技術は北欧においての映画製作にも大きく貢献しています。クリエイターに新しい可能性を提示するデジタルシネマを今回の特集でご紹介できるのを、大変嬉しく思っております。

キャロリナ・リディン  
ディレクター  
フィルム・コンタクト・ノード

## ■ 北欧短編作品

〔凡例〕 日本語タイトル/英語タイトル/原題 (製作年/分数/撮影フォーマット)

### デンマーク

マックス・バイ・チャンス/Max by Chance/Rejsen på ophavet (2004年/29分/Digital Betacam)

監督：マックス・ケストナー

これは監督自身のルーツのお話。様々な年代の水兵や実業家、そしてヒッピーたちを浮き彫りにし、みんな真心こもった愛情と、皮肉をこめて描写されている。カンヌ映画祭やアムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭などで上映されている。

ストレスレス/Stressless/Stressless (2003年/15分/Digital Betacam)

監督：ジェシカ・ニルソン

離婚したあなた、若くて独身、犬を飼っている？ライフスタイルの専門家ルルが、離婚のストレスから立ち直るための方法を教えてくれる。クレモン・フェラン短編映画祭、香港国際映画祭などで上映。

### スウェーデン

ソルジャー7/ Soldier 7/ Soldier 7 (2005年/20分/HD CAM)

監督：マシュー・アレン

舞台は、ある無名の戦場。駆け抜けていく勇敢な女兵士。戦友の死を目の当たりにしながら、なんとか生き延びる彼女が、激しい戦いの果てに見たものは？

ブロードバンド/Broadband/ Bredband (2004年/29分/Digital Betacam)

監督：ウルフ・ハンソン

新しいケーブルテレビ、“ブロードバンド”は人々を幸せにするはずのものであった。スウェーデンの小さな田舎町に住むルネを除いては…。

### ノルウェー

ユニバーサル・ヒェル/Universal Kjell/ Kjell Universel I (2003年/29分/Digital Betacam)

監督：エリック・リヒテル・ストランド

ヒェルは、小さな会社の管理者。社員が自分の陰口をたたいているのでは？と疑っていた。それを確かめるため、あきれくらい恥知らずなスパイ、Mr. レイダーをでっちあげる。バーゲン国際映画祭にて上映。

## フィンランド

子供と呪文/The Bewitched Child/L' Enfant et les Sortilèges (2004年/47分/Digital Betacam)

監督：マリッキ・ハコーラ

作曲家モーリス・ラベルのオペラをベースにしたファンタジー。セットまでが新しいバーチャル技術で描かれているフィンランド話題の新作。バンフ国際映画祭で上映。

## アイスランド

マネー/Money/Peningar (2004年/6分/DV)

監督：サイバル・シーグルズソン

心優しい男、ジョン。偶然、他人の財布を拾った時、善良な彼にもちょっとした犯罪心が芽生えてしまう。小さな心の葛藤に、彼は勝てるのか？

ザ・ラスト・ワーズ・オブ・フレッグヴィーズル/The Last Words of Hreggvidur/Síðustu ord Hreggvids

(2004年/22分/DV)

監督：グリームル・ハウコナルソン

保守派のフレッグヴィーズルは、自分の記事を載せてもらおうと新聞社を訪れるが、突然の心臓発作で死亡。彼は幽霊となり、自分の記事を載せてもらうため編集者を脅す。

## 招待作品 (オープニング上映)



### サマータイムマシン・ブルース

2005年 / 100分 / HDCAM

出演： 瑛太 上野樹里 佐々木蔵之介

プロデュース・監督： 本広克行

原作・脚本： 上田誠 (ヨーロッパ企画)

企画・制作プロダクション： ROBOT

製作： ROBOT、東芝エンタテインメント、博報堂 DY メディアパートナーズ、IMAGICA

配給： 東芝エンタテインメント <http://stmb.playxmovie.com/> 2005年 夏、ロードショー

### 目の前に突然タイムマシン！ さあどーする！？ 本広克行監督&初プロデュース！

マジに暑すぎる夏、とある大学の「SF研究会」部室。SF研究などせずにまったり過ごす5人の男子学生と、写真部の2人の女性部員。前日にクーラーのリモコンが壊れて猛暑に悩まされるなか、ふと見ると部屋の隅に突然タイムマシンが！！「ためしに昨日に帰って壊れる前のリモコン取ってこよう」と軽い気持ちで乗って見たら、さあ大変。想像もつかないような事態が次々と巻き起こって…！？

出演は人気急上昇中の瑛太&上野樹里。

『踊る大捜査線 THE MOVIE 2』で実写映画の興行記録を塗り替えた本広克行監督が、「原点に戻って、大好きな演劇とのコラボをしたい」との思いから、現在熱い注目を集める劇団「ヨーロッパ企画」の傑作戯曲を映画化。自らプロデューサーを務める気合の入りようだ。「ウォーターボーイズ」などの連ドラで人気急上昇中の瑛太が映画初出演、ヒロイン役は『スウィングガールズ』の上野樹里。さらに超個性的なキャラクターたちが笑いの波状攻撃をしかけてくる！ 台詞のテンポの良さに笑い、パズルの様に凝った展開に頭をひねりながら、最後には誰もが膝を叩いて最初からもう一度見たくなる。この夏、いまだかつてなく斬新な作品が時空を超えてやってくる！

### 監督プロフィール

1965年生まれ。CM制作会社を経て共同テレビへ。バラエティ番組などの演出を手がけた後、1992年に「悪いこと」でテレビドラマ初演出。1996年には『7月7日、晴れ』で劇場映画監督デビュー。1997年のテレビドラマ「踊る大捜査線」でチーフディレクターを務め、映画版2作でも監督を務める。現在はROBOTに所属中。主な劇場用監督作に『友子の場合』、『スペーストラベラーズ』、『サトラレ』など。

## オープニングイベント特別企画 「HD 映像によるライブ中継・遠隔上映」

### 【目的】

デジタルシネマの特性を生かし、ストリーミングによる HD 高画質映像の長距離配信の実用性実験、HD カメラによる高画質映像のライブ・ストリーミング中継を行うことにより、映画の配給・上映における新たなビジネスモデルを予見させます。

### 【意義】

世界的にデジタルシネマシアターの普及が進みつつある中で、上映素材の画質(解像度)を問うケースは増えていますが、映像配信時の画像圧縮率について問われるケースはまだ少ない状況です。大型スクリーンでの視聴に十分耐えうる高ビットレートでの HD 伝送を他に先駆けて行うことで、デジタルシネマの振興に大きく寄与します。

### 【概要】

NTTコミュニケーションズの専用光回線「ギガストリーム TypeF」を通じて SKIP シティ(川口)とインタークロス・クリエイティブ・センター(札幌)を結び、モーシオン JPEG2000 もしくは MPEG-2/40 Mbps 以上のビットレートで HD 映像(1080×1920)の高画質映像伝送を行います。

遠隔上映作品は、『踊る大捜査線 THE MOVIE』シリーズを手掛けた本広克行監督の最新作『サマータイムマシン・ブルース』(東芝エンタテインメント配給)を世界に先駆けてお届けします。

※ モーシオン JPEG2000によるデジタルシネマ配信上映は、日本初となる予定。

※ MPEG-2 リアルタイム・ストリーミングによるデジタルシネマ配信上映は、日本初となる予定。

### 【期日】

2005年7月16日(土)

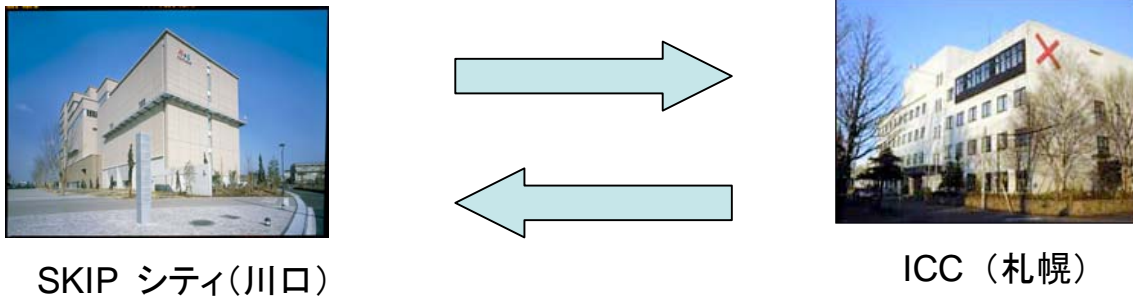
### 【場所】

- ・ SKIP シティ 映像ホール(川口)<http://www.skipcity.jp/index.shtml>
- ・ インタークロス・クリエイティブ・センター (札幌)<http://www.icc-jp.com/ja/index.html>

### 【内容】

- ① リアルタイム・ストリーミングによる HD 双方ライブ中継(MPEG-2/40Mbps 以上を予定)  
SKIP→ICC 「SKIP シティ国際 D シネマ映画祭2005」オープニング・セレモニーの HD 映像送信  
ICC→SKIP ICC からの HD メッセージ映像の送信、ICC クリエイター制作作品の遠隔上映
- ② デジタルシネマ作品の HD 映像配信(モーシオン JPEG2000 もしくは MPEG-2/40Mbps 以上を予定)  
ICC→SKIP 『サマータイムマシン・ブルース』(本広克行監督)の遠隔配信上映

### 「HD 映像によるライブ中継・遠隔上映」概念図



- ①HD 双方向ライブ中継: MPEG-2(40Mbps 以上)
- ②HD 遠隔配信上映: モーション JPEG2000(100Mbps)もしくは MPEG-2(40Mbps 以上)

#### インタークロス・クリエイティブ・センター(ICC)とは

札幌市が進めている新産業創出事業の一環としてクリエイティブ(コンテンツ)に特化した産業創出のために作られたインキュベーション施設です。財団法人さっぽろ産業振興財団が管理、運営する施設で、多くの企業や団体が創作活動を行っています。行政がこのようなクリエイティブに特化し支援する施設は珍しく、世界中からこの施設の視察に訪れています。

<D-コンテンツマーケット>

**クリエイターズ・スタジオ 2005**

**【開催趣旨】**

開催2回目となる今年は、彩の国ビジュアルプラザ・HDスタジオから、当インキュベートオフィス入居者をはじめとする次世代のクリエイターのプレゼンテーションを中心として、国内外のプロデューサー、出資者、配給の皆様に向けてビジネスチャンスをご提供します。

**【日時】**7月21日(木)～23日(土)

15:00～18:00(予定)

**【会場】**SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ・1階 HDスタジオ

**【実施概要】**

- a.クリエイターによるコンテンツ企画プレゼンテーション
- b.懇親会

## 映画祭関連イベント1 ＜シンポジウム＞

### 【開催趣旨】

デジタルシネマに関する国内外の最新動向を探る国際シンポジウムを、映画祭期間中に開催いたします。米・ハリウッドにおいて、DCI(デジタル・シネマ・イニシアティブ)標準規格の枠組みが決定される中、デジタルシネマはいよいよ本格的に動き出そうとしています。

そこで、各国の導入に際しての課題と、取り組みについて発表していただき、国内映画産業の活性化のための指針を探ります。

【日時】7月22日(金)

13:00～16:30(12:40 開場)

【会場】SKIP シティ 映像ホール

【参加費】無料(事前登録制・先着順)

### 【開催概要】

＜テーマ＞ デジタルシネマ導入への展望を探る～海外最新情報～(仮称)

#### ●パネリスト

国内外からの招聘ゲスト×2～3名

#### ●モデレーター

長編コンペティション部門・国際審査委員長

南カリフォルニア大学(USC) エンターテインメント・テクノロジー・センター(ETC)

CEO / エグゼクティブディレクター

チャールズ・エス・シュワルツ氏

※日英の同時通訳付

## 映画祭関連イベント2 ＜フォーラム＞

### 【開催趣旨】

長編コンペティション部門の国際審査員として来日する、フランスの映画監督ピトフ氏をゲストにお招きし、VFXなどのデジタル技術を活かした映画制作についてお話を伺います。日本からもゲストをお招きし、対談形式で、日本・フランスそれぞれの映画制作について最新情報を伺います。

【日時】7月20日(水)

14:00～17:00(13:30 開場)

【会場】彩の国ビジュアルプラザ 1階・HDスタジオ

【参加費】2,000円(事前登録制・先着順・当日お支払い)

### 【開催概要】

＜テーマ＞ 日本とフランスのVFX最新情報(仮称)

#### ● ゲスト

ピトフ監督(仏)他

※ 聞き手による進行。

※ 日英の同時通訳付

## チケット

<<前売券>> 5月25日(水)から7月15日(金)まで発売 Pコード  
ード

●1回券 ¥ 500 474-561  
(オープニング上映、クロージング上映を除く全ての上映作品 1 回限り有効)

●オープニング上映券『サマータイムマシン・ブルース』 ¥ 500 551-317  
(映画上映前に開会セレモニーがございます / 約 90 分)

●クロージング上映券『長編グランプリ受賞作品』 ¥ 500 551-317  
(映画上映前に表彰式がございます / 約 40 分)

●3回券 ¥ 1,200 474-561  
(オープニング上映、クロージング上映を除く全ての上映作品 3 回限り有効)

<<当日券>>

●1回券 ¥ 600

※全席自由／定員・入替制

※3回券は複数人での使用可。

※満員の際及び開演後の入場はお断りする場合がございます。

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

※当日券は各上映、開場時間より販売致します。

<<前売券取扱先>>

チケットぴあ・ファミリーマート・セブン-イレブン・サンクス(Pコードが必要です)

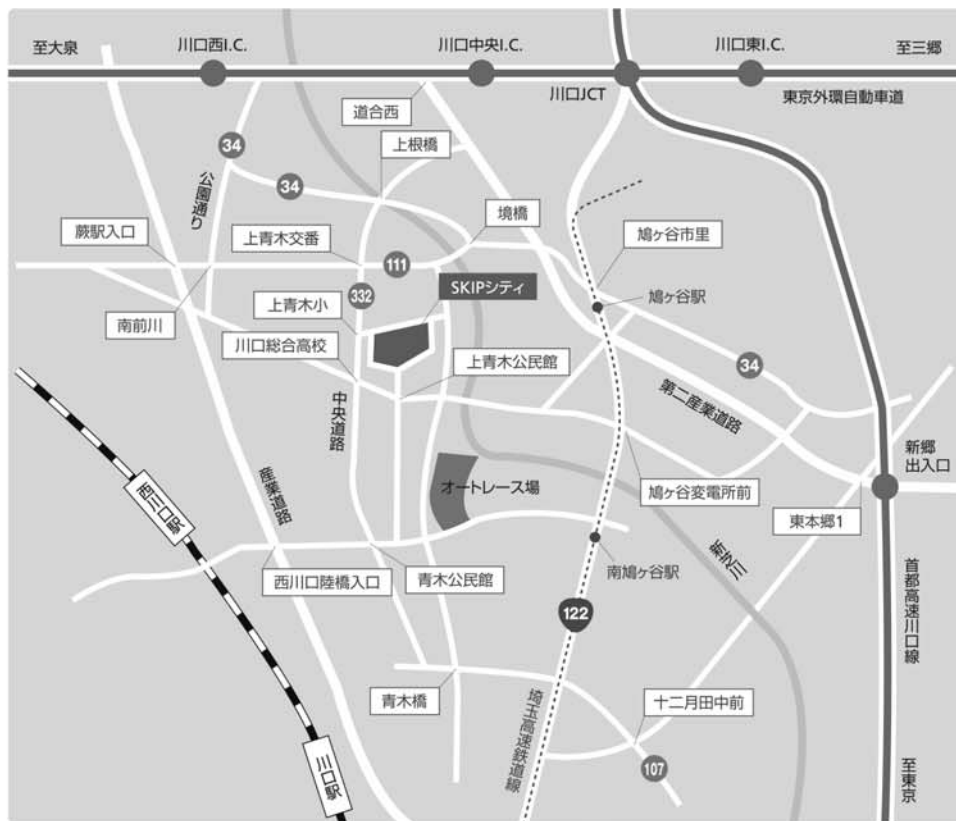
JR東日本 みどりの窓口、びゅうプラザ(一部取り扱いをしない駅がございます)

書泉ブックドーム(川口市)、須原屋ダイヤモンドシティキャラ店(川口市)

SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ4F 県民交流プラザ



## アクセス



### ■バスでお越しの場合

□無料直行バス「JR 川口駅東口→SKIP シティ」(約14分)

東口 CASTY(旧川口産業会館) 前臨時バス停より

**SKIP シティ  
直行無料バス  
時刻表**

	7/16~24
10	00 30
11	00 30
12	00 30
13	00 30
14	00 30
15	00 30
16	00 30
17	00 30
18	00 30
19	00 30
20	00 30
21	00

<<路線バス(有料)>>

JR 京浜東北線 川口駅 東口7番のりば「鳩ヶ谷公園住宅」(約14分)  
JR 京浜東北線 西川口駅 東口5番のりば「SKIP シティ循環」(約12分)  
埼玉高速鉄道 鳩ヶ谷駅 西口3番のりば「SKIP シティ経由川口駅東口行」(約10分)

運行時刻は国際興業バスホームページをご覧ください。  
<http://www.kokusaikogyo.co.jp/>

□無料直行バス「SKIP シティ→JR 川口駅東口」(約14分)

SKIP シティバス停より

**川口駅東口  
直行無料バス  
時刻表**

	7/16~24
10	30
11	00 30
12	00 30
13	00 30
14	00 30
15	00 30
16	00 30
17	00 30
18	00 30
19	00 30
20	00 30
21	00 30

<<路線バス(有料)>>

鳩ヶ谷駅行、西川口駅行、川口駅行がございます。

### ■車でお越しの場合

映画祭にご来場のお客様は、A2 駐車場をご利用下さい。3 時間まで無料でご利用いただけます。

**SKIP シティ** 〒333-0844 埼玉県川口市上青木 3-12-63 彩の国ビジュアルプラザ

## お問い合わせ

ご取材、広報に関するお問合せは

SKIP シティ国際Dシネマ映画祭2005事務局

広報担当：臼井、山本

〒333-0844 埼玉県川口市上青木3-12-63-5F

TEL：048-263-0818

FAX：048-262-5635

E-mail：hyamamoto@skipcity-dcf.jp

URL：http://www.skipcity-dcf.jp

※可能でしたらご紹介、リンクをお願いいたします。

(インターネット媒体の方は必須表記にてお願いいたします)

写真素材、データなどは下記のサイトからダウンロードすることも可能です。

[http://www.skipcity-dcf.jp/press\\_dl/](http://www.skipcity-dcf.jp/press_dl/)

※プレスの方のみのご利用となります。

### 一般お問合せ先

SKIP シティ国際Dシネマ映画祭2005事務局

公式サイト：<http://www.skipcity-dcf.jp>

TEL：048-263-0818

FAX：048-262-5635